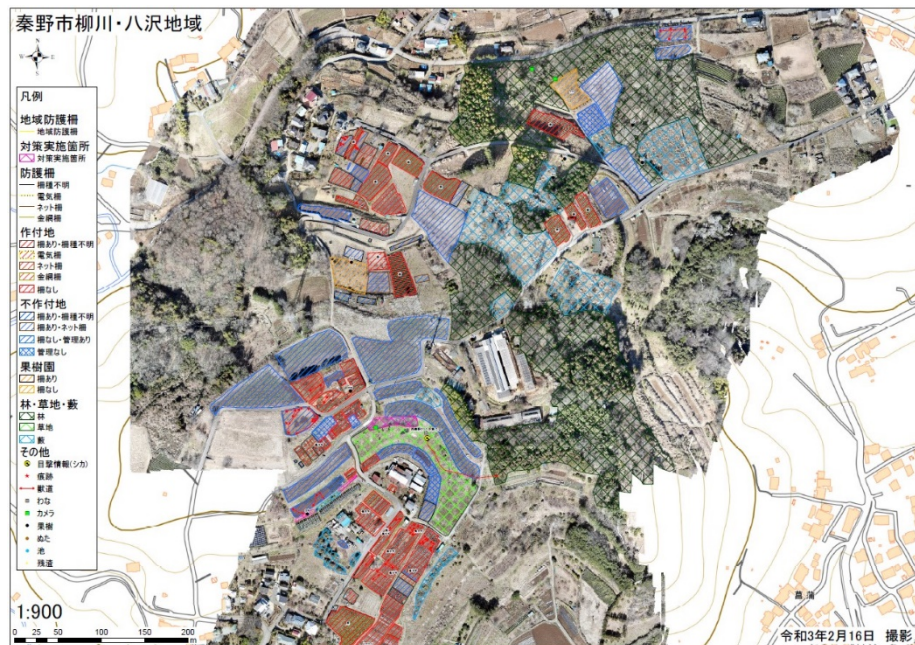


次の一手は空の目から ドローンを活用した鳥獣被害対策を実施します

市内縁辺部の里山地域における鳥獣被害の状況を調査するため、本市では昨年度、ドローンによる空撮画像データを用いた被害対策地図を作成しました。

これを活用し、それぞれの地域に応じた対策を講じたところ、一定の効果が得られたため、今年度も引き続き調査を実施します。



空撮による被害対策地図

1 鳥獣被害の状況

耕作放棄地の増加や里山での活動減少に伴い、シカやイノシシなどによる農作物被害や、道路への飛び出しによる人身事故が発生しています。また、野生動物に付着して運ばれるヤマビルの増加に伴う、表丹沢に登山やハイキングで訪れる観光客への吸血被害や、山中での餌の減少により果樹を求めて里山にクマが出没するなど、喫緊の課題となっています。



クマの被害にあった柿の木

2 昨年度の調査結果及び対策による効果

これまで、鳥獣被害対策は、環境整備・防除・捕獲の3本柱で総合的に進めてきました。昨年度は、さらに新たな試みとして、市内の上、北及び東地区において、それぞれドローンによる自動撮影で得られた画像



竹林の焼却による住処の除去

データをもとに、野生動物の痕跡のほか、耕作放棄による藪や放棄果樹の位置、地域防護柵の設置状況、わなの位置等の各種情報を網羅した被害対策地図を作成しました。

これをもとに、野生動物にとって格好の住処となる放置竹林や、餌となる放置果樹が多くある場所を特定し、草刈、焼却、伐採等に加え、センサーカメラの設置といった対策を講じたところ、群れの後退や出没の抑制といった効果が確認できました。

3 今年度の事業

昨年度と同様に市内3地域を重点取組地域に選定し、専門業者と連携した対策を実施します。また、地域住民を対象とした被害対策の勉強会を開催し、地域の特色に応じた具体的な対策の検討を行います。

農業振興課農業支援・鳥獣対策担当（はだの都市農業支援センター内）
電話0463（81）7800